

モデル経営体名：有限会社ファームヤード（深谷市）

展開：露地野菜の産地の強化に係る展開

経営概要 71ha（うち畑：70ha）キャベツ20ha、ねぎ18ha、えだまめ10ha、こまつな13ha、たまねぎ2ha
うち実証面積 えだまめ10ha、GPS車速連動肥料散布機、車速連動高速播種機

導入技術①直進アシストシステム搭載トラクタ・井関農機（株）・RTS25ZGQ
②GPS車速連動グランドソー・（株）タイショー・UX-110F-GP
③車速連動目皿式高速播種機・アグリテクノ矢崎（株）・ADRG-3YK

①
②
③



実証の状況

①実証の目的

えだまめ栽培における直進アシストシステム搭載トラクタの導入による耕うん・施肥・は種同時処理による省力化

②実証状況

直進アシスト機能付きトラクタを活用した耕うん・施肥・は種同時処理実証を行った。

作業は、慣行の「耕うん準備・整地→施肥→は種」の3工程を実証では1工程で行なった。

耕うん準備、整地、は種の作業については、作業前の準備（線引き）が省略され、導入前にはオペレーター2人で行っていた作業を1人で行うことができたため、10aあたりの作業時間は約58%削減された。

今年度実証では、機械の操作性（直進性、作業負荷削減）について確認を行い、トラクタの作業技術の未熟なオペレーターでも簡単な操作で直進でき、作業疲労が軽減された。

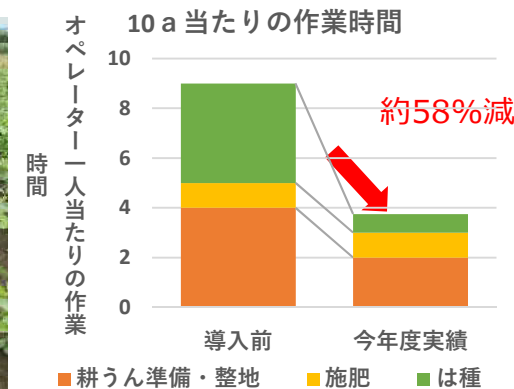
③モデル経営体の感想

直進アシスト機能付きトラクタにより、は種作業が直線的になりその後の管理が楽になった。

ほ場の形状によっては、直進アシスト機能に誤差が生じたり、また、旋回後の直線に入る際にも誤差が生じたため気を遣い、修正に時間を要するため、その部分の改善を要望する。



えだまめ作付ほ場



耕うん準備、施肥、は種までの作業時間